

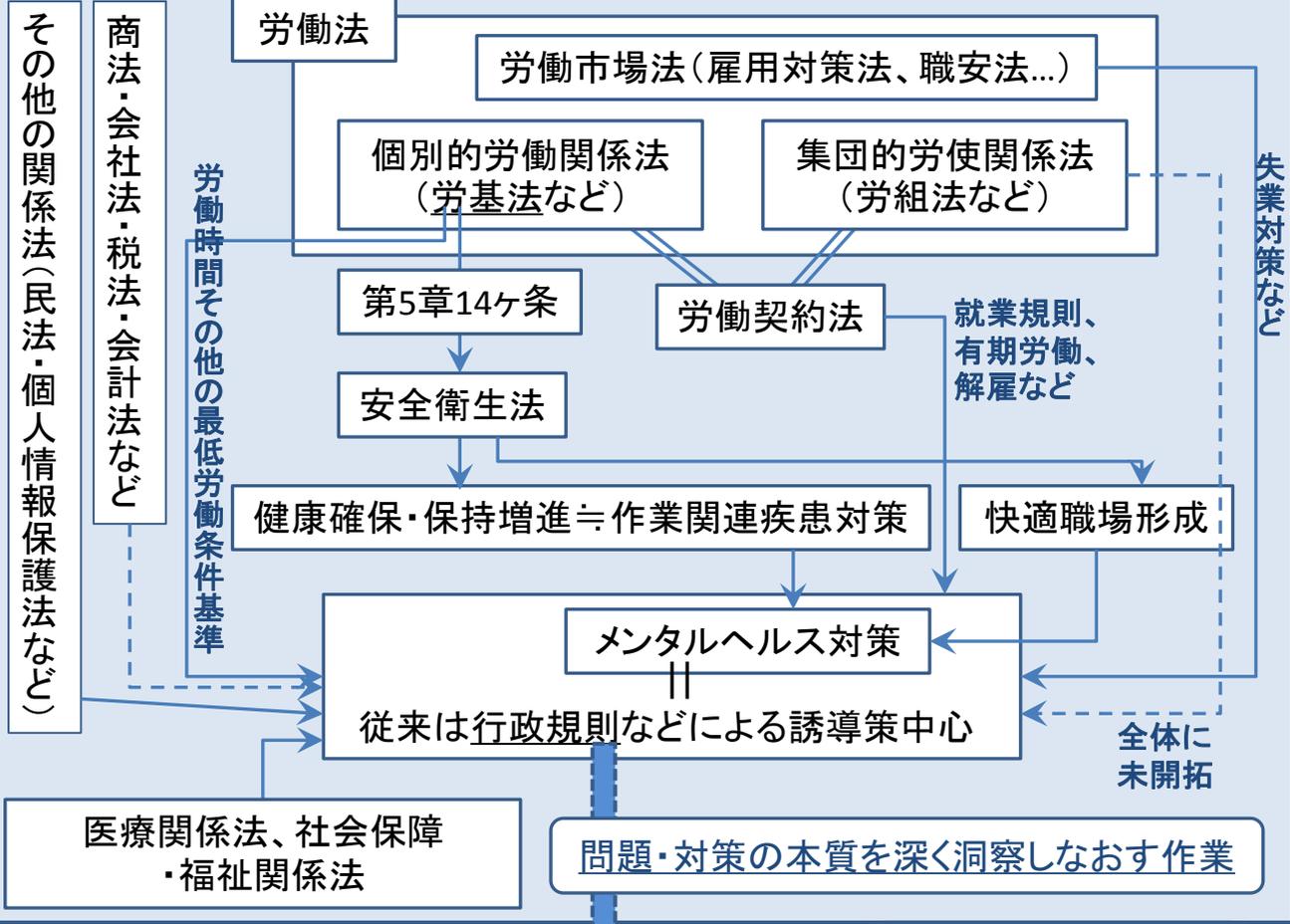
社会

企業

人事労務実務

- ・組織（労働者）の求心力の維持発展
- ・企業ブランド（力）の維持発展
- ・長期的な生産力（ \uparrow ）短期的な生産効率（ \uparrow ）の向上
- ・アイデア創成力を含む
- ・トップの意向・決定の反映
- ・トップの威厳・リーダーシップの維持・強化を含む

法務・コンプライアンス



日本の企業・産業に
日本型の手法で
もう一度元気を
取り戻してもらうこと

「メンタルヘルスという概念の守備範囲」

軽度の疾病障害

③:主に就業上の措置(但し、基本的には期限付き)で対応すべき領域

典型的な病態は、内因性・外因性精神障害のうち、軽度のもの

①:主に職域での1次予防(職場環境整備等)ないし2次予防(個別的な就業上の措置等)で対応すべき領域

典型的な病態は、不調レベルの軽度の心身症状や、適応障害などの心因性精神障害のうち軽度のもの

本人要因その他
業務外の事由

業務上の事由
(環境要因大)

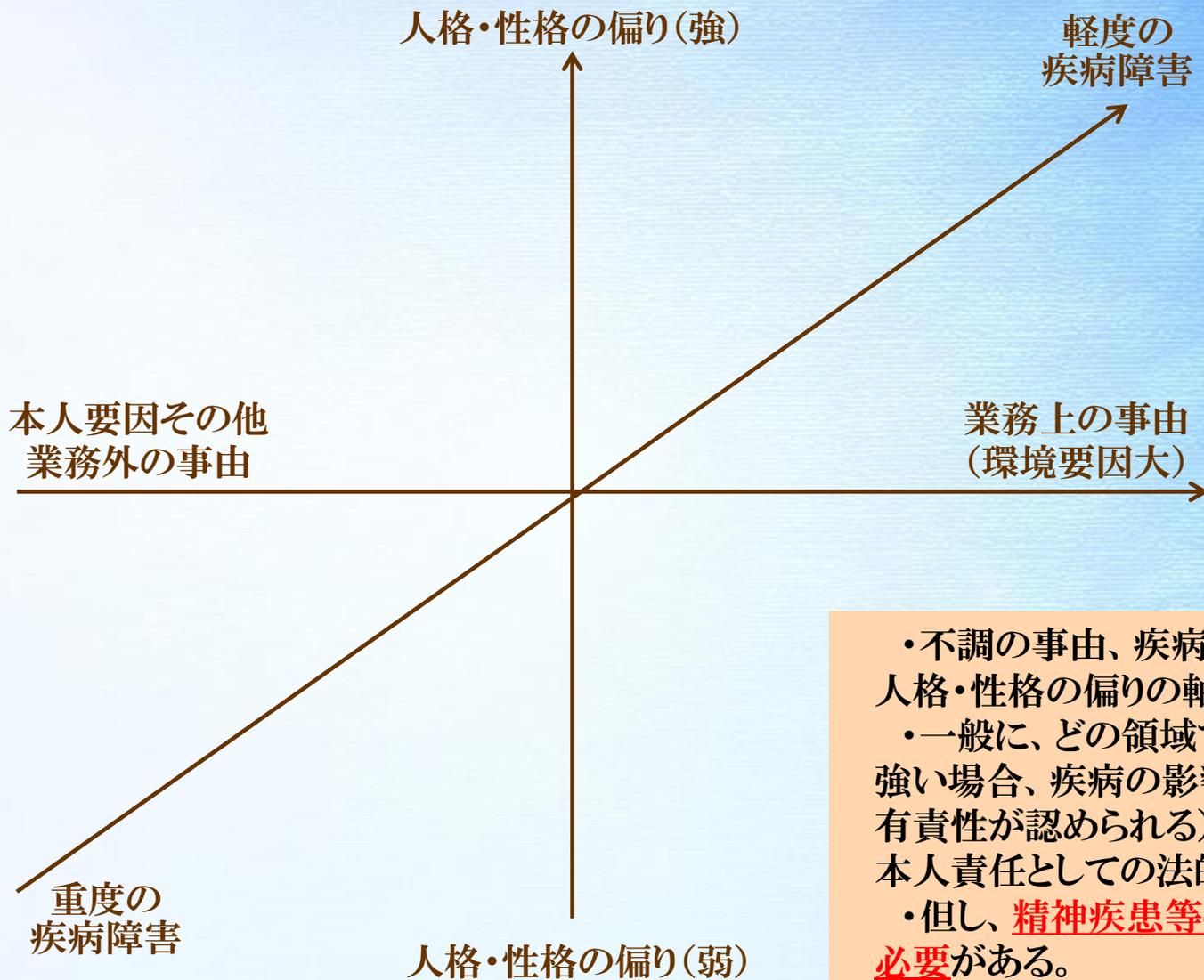
④:主に休職・復職管理・支援、a.難治性、b.所定業務・職場秩序・治療への影響などの要件を充たせば、解雇や自然退職措置、社会保障・福祉制度への連結などで対応すべき領域

典型的な病態は、統合失調症などの重度な内因性精神障害など

②:主に職域での3次予防(休職・復職管理・支援など)+再発防止策としての1次・2次予防で対応すべき領域

典型的な病態は、適応障害などの心因性精神障害のうち重度のものや、心因性のうつ病など

重度の疾病障害



- ・不調の事由、疾病障害の軽重の軸に加え、人格・性格の偏りの軸も考慮する必要がある。
- ・一般に、どの領域でも、人格・性格の偏りが強い場合、疾病の影響を超える(：責任能力、有責性が認められる)非違行為については、本人責任としての法的評価を受ける。
- ・但し、精神疾患等の周辺症状と区別する必要がある。
- 結局、専門医のスクリーニングが手続として求められる。